

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-111929

(43)Date of publication of application : 12.04.2002

(51)Int.Cl.

H04N 1/00
B41J 2/475
B41J 29/38
G03G 15/22
G03G 21/00
H04N 1/23
H04N 1/29

(21)Application number : 2000-301993

(71)Applicant : KONICA CORP

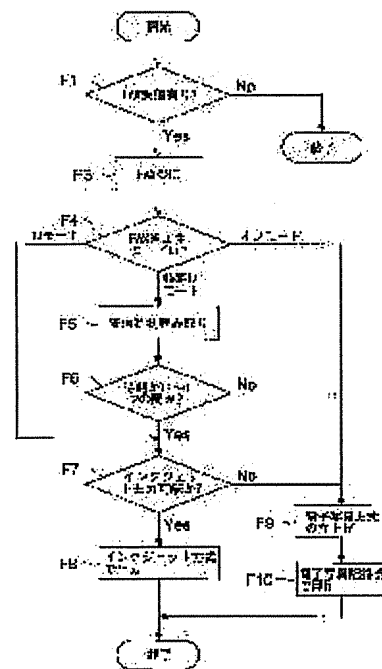
(22)Date of filing : 02.10.2000

(72)Inventor : KAYANO SHIZUO
MATSUBARA AKITOSHI
ICHINO TADASHI
SATO KAZUO
IKEDA TADAYOSHI

(54) COMPOSITE IMAGE FORMING APPARATUS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a composite image forming apparatus, capable of outputting at for reception time from an external communication circuit, at midnight in power-saving and economical manner and selecting a method for forming an image, in response to an application of a user in a composite-image forming apparatus, having an electrophotographic type image forming means and an ink jet type image forming means.
SOLUTION: The composite image forming apparatus comprises a electrophotographic type and ink-jet type image forming means, and a receiver for receiving image information from an external communication channel. The apparatus further comprises a selecting means for selecting to form the image by either of the electrophotographic type image forming means and the ink-jet type image forming means, when image information is received externally by the receiver and a control means for controlling, so that the image is formed by the image forming means selected by the selecting means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or

application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-111929
(P2002-111929A)

(43) 公開日 平成14年4月12日 (2002.4.12)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	C 2 C 0 6 1
B 4 1 J 2/475		B 4 1 J 29/38	Z 2 H 0 2 7
29/38			D 2 H 0 7 8
G 0 3 G 15/22	1 0 3	G 0 3 G 15/22	1 0 3 Z 5 C 0 6 2
		21/00	3 7 0 5 C 0 7 4
審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-301993(P2000-301993)

(22) 出願日 平成12年10月2日 (2000.10.2)

(71) 出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72) 発明者 萱野 鎮雄

東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

(72) 発明者 松原 昭年

東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

(72) 発明者 市野 匡

東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

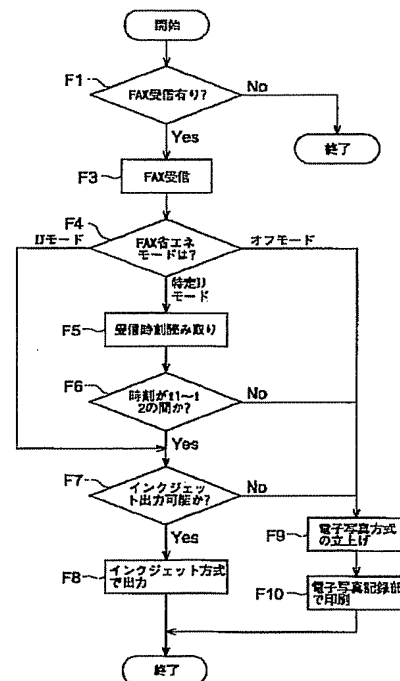
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 複合画像形成装置

(57) 【要約】

【課題】 電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを有した複合画像形成装置において、深夜の外部通信回路からのFAX受信時における出力を、省電力および経済的に行うことが出来、またユーザの用途に応じた画像形成方法を選択可能な複合画像形成装置を提供する。

【解決手段】 電子写真方式とインクジェット方式の画像形成手段とを有し、且つ外部通信回線からの画像情報を受信する受信部を有する複合画像形成装置において、前記受信部にて外部からの画像情報を受信した場合、前記電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段の何れにて画像形成するかを選択する選択手段と、前記選択手段により選択された画像形成手段にて画像形成するように制御する制御手段とを有することを特徴とする複合画像形成装置。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを有し、且つ外部通信回線からの画像情報を受信する受信部を有する複合画像形成装置において、前記受信部にて外部からの画像情報を受信した場合、前記電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段の何れにて画像形成するかを選択する選択手段と、前記選択手段により選択された画像形成手段にて画像形成するように制御する制御手段とを有することを特徴とする複合画像形成装置。

【請求項 2】 電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを有し、且つ外部通信回線からの画像情報を受信する受信部を有する複合画像形成装置において、時刻を管理する計時手段を有し、前記受信部にて外部からの画像情報を、所定の時刻に受信した場合は、インクジェット方式の画像形成手段にて画像形成するように制御する制御手段を設けたことを特徴とする複合画像形成装置。

【請求項 3】 前記制御手段は、前記所定の時刻には少なくとも電子写真方式の画像形成手段の定着手段への通電を遮断するように制御することを特徴とする請求項 2 記載の複合画像形成装置。

【請求項 4】 前記制御手段は前記インクジェット方式の画像形成手段での画像形成が不可と判断された場合は、電子写真方式の画像形成手段にて画像形成するように制御することを特徴とする請求項 2 又は 3 記載の複合画像形成装置。

【請求項 5】 請求項 1 又は 2 記載の複合画像形成装置において、前記制御手段による制御を解除した制御を選択可能にしたことを特徴とする複合画像形成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを備え、且つ F A X 受信機能を有した複合画像形成装置に関するものであり、より詳しくはその F A X 受信時の状況に対応して電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段を有効に使い分けるよう制御される複合画像形成装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、画像形成処理技術の発展に伴い、記録紙に白黒画像を形成する電子写真方式の画像形成装置や、記録紙にカラー画像を形成するインクジェット方式の画像形成装置が販売されている。

【0003】一方、ユーザの使用要求から、白黒の原稿とカラーの原稿とが入り交じった複合原稿を同一画像形成装置にて複写物を作成することができないかという要望がある。この種の要求に対して特開平 10-814 号公報には、電子写真方式の画像形成装置とインクジェット方式の画像形成装置とを備えた複合画像形成装置が開

示されている。

【0004】更にこの種の複合画像形成装置は、複写機能の他にプリンタ機能や F A X 送受信機能も備えたものを考えることが出来るが、その機能を有効に使いユーザの使い勝手を良くする検討は、なお不十分といえるのが現状である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段を備え、且つ、外部通信回線からの画像情報を受信する受信部（F A X 受信機能）を有する複合画像形成装置の使い勝手を良くし、ユーザの要求に行き届いた対応が出来るようにするためになされたものである。

【0006】ところで、F A X 通信回線から受信される画像は、ユーザが装置の前で待機している状態は少なく、高速で出力する要求は少なく、また、大量に画像を送信することも多くなく、この点で考えれば、このような画像は経済性の高いインクジェット方式で画像形成した方が良い場合が多い。また、そうはいっても、F A X 通信回線で大量に送信し、なおかつ緊急性の高い画像を送信する場合もある。この場合は予め電話等で出力機器の前に受信者を待たせることも行う。こうした双方の用途を考慮して、事前に出力を電子写真方式か、インクジェット方式かどちらの方式で行うか選択可能になされていたものはなかった。

【0007】又、電子写真方式を利用した複合画像形成装置においては、夜間の F A X 受信のために定着装置を一定温度に保って待機状態を維持する必要があるため、多くの電力を消費していた。

【0008】本発明の目的は、電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを備え、且つ F A X 受信部を有した複合画像形成装置において、深夜の外部通信回路からの F A X 受信時における出力を、省電力および経済的に行うことが出来、またユーザの用途に応じた画像形成方法を選択可能な複合画像形成装置を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明者等は、上記課題に対して鋭意検討した結果、本発明の目的は下記構成の何れかを採ることにより達成されることを見いだしたものである。

【0010】〔1〕 電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを有し、且つ外部通信回線からの画像情報を受信する受信部を有する複合画像形成装置において、前記受信部にて外部からの画像情報を受信した場合、前記電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段の何れにて画像形成するかを選択する選択手段と、前記選択手段により選択された画像形成手段にて画像形成するように制御する制御手段とを有することを特徴とする複合画像形成装置。

【0011】〔2〕 電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを有し、且つ外部通信回線からの画像情報を受信する受信部を有する複合画像形成装置において、時刻を管理する計時手段を有し、前記受信部にて外部からの画像情報を、所定の時刻に受信した場合は、インクジェット方式の画像形成手段にて画像形成するように制御する制御手段を設けたことを特徴とする複合画像形成装置。

【0012】〔3〕 前記制御手段は、前記所定の時刻には少なくとも電子写真方式の画像形成手段の定着手段への通電を遮断するように制御することを特徴とする

〔2〕記載の複合画像形成装置。

【0013】〔4〕 前記制御手段は前記インクジェット方式の画像形成手段での画像形成が不可と判断された場合は、電子写真方式の画像形成手段にて画像形成するように制御することを特徴とする〔2〕又は〔3〕記載の複合画像形成装置。

【0014】〔5〕 〔1〕又は〔2〕記載の複合画像形成装置において、前記制御手段による制御を解除した制御を選択可能にしたことを特徴とする複合画像形成装置。

【0015】本発明においては、複合画像形成装置本体に時計手段を設け、時刻設定手段で設定される第1、第2の時刻の間は電力消費や騒音の少ないインクジェット方式の画像形成手段のみを使用することで、経済性及び夜間の静粛性を向上させることが出来る。

【0016】又、インクジェット方式の画像形成手段は、電源の投入から画像形成開始までに要する時間が短くてすむので、FAX情報を受信する前はパワーセーブ状態にしておいても、受信後に速やかに画像形成することが出来、更に電子写真方式の様に定着に大きな電力を消費することもなく、省エネという意味からも有効である。

【0017】即ち、

（1） 請求項1の発明により、電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段を有する複合画像形成装置において、FAXの受信時に、その緊急の度合い、情報の量等のユーザーの利用状況を考慮して、インクジェット方式で出力するか、電子写真方式で出力するかを選択可能にすることにより省電力で安価に効率の良い画像出力が可能となる。

【0018】（2） 請求項2、3の発明により、深夜等の特定の時間帯でのFAX受信時における画像の出力においては、電子写真方式に比べ電力消費が少なく、印字のための経費も安く、また音の静かなインクジェット方式を利用することにより経済性及び省電力、低騒音を実現出来るという効果がある。

【0019】これにより電子写真方式に係わる定着の予熱部分等の大電力消費部分をすべてOFFとすることが可能となり、さらに省エネ効果をあげることも出来る。

【0020】（3） 請求項4の発明により、インクジェット方式がインク無し等の理由により画像形成出力が出来ない場合に、自動的に電子写真方式にて画像出力が可能となる効果を有する。

【0021】（4） 更に、上記の選択手段による選択の設定がかえって不都合な場合は、解除することが出来るので、その場の状況や使用状況の変化にも柔軟に対応することが出来る。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら、本発明に係る複合画像形成装置について先ず説明をする。

【0023】図1は、本発明の実施形態に係わる複合画像形成装置100の構成例を示すブロック図である。

【0024】図1に示す複合画像形成装置100には、白黒の原稿とカラーの原稿及びこれらが入り交じった複合原稿からの画像情報（画像データとも称す）を記録する記憶手段として画像メモリ1が設けられている。この画像メモリ1にはDRAM（記憶保持動作が必要な随時書き込み読み出しメモリ）などが使用され、そのメモリ領域は白黒画像データ領域、カラー画像データ領域、編集領域などに分割されている。

【0025】画像メモリ1にはスキャナ等の原稿読取手段2から原稿を読み取って得た白黒又はカラーの原稿画像データD1が画像処理手段5による画像処理を行った後に一時記憶される。また、画像メモリ1には受信部8にて相手装置から送られてきた画像データを受信し、ファクシミリ手段3、画像処理手段5を経て、受信画像データD2が一時的記憶される。更に、画像メモリ1にはインターフェース4が接続され、外部のコンピュータで加工された白黒又はカラーの加工画像データD3が一時的記憶される。

【0026】この画像メモリ1には画像処理手段5が接続されており、複数ページ分の画像データが与えられる場合には、その画像データから白黒用の画像データページとカラー用の画像データページとが分離される。分離方法は、例えば、JPEG方式あるいはMPEG方式といった圧縮画像データの場合には、各ページ毎のデータ列のヘッダ情報として書き込まれた、白黒画像データを示す識別フラグや、カラー画像データを示す識別フラグを識別することにより行なわれる。

【0027】この画像メモリ1の出力段には少なくとも2種の画像形成手段#1、#2が設けられ、上述の任意の画像データに基づいて個々の記録紙Rに並列に画像の形成処理がなされる。各々の画像形成手段#1、#2では、上述した原稿読取手段2による白黒画像又はカラー画像、ファクシミリ手段3による受信画像、又は、インターフェース4による白黒又はカラーの加工画像が記録紙Rに形成される。この例では、少なくとも、画像形成手段#2でカラー画像データに基づいて記録紙Rにカラー画像が形成され、画像形成手段#1で白黒画像データ

に基づいて記録紙Rに白黒画像が形成される。この例で画像形成手段#2にはカラーインクジェット方式の画像形成手段が使用され、画像形成手段#1にはモノクロ電子写真方式の画像形成手段が使用される。

【0028】図2のフローチャートは受信部でのFAX受信時における判定と画像出力の制御フローである。

【0029】最初にFAX受信が有るかどうかを確認され(F1)、無ければこのルーチンは終了する。有る場合はFAX受信を行う(F3)。

【0030】次に、操作表示部20の選択手段21にて選択されているモードを判定する(F4)。前記選択手段21には、「IJモード」、「特定IJモード」、「オフモード」が設けられており、何らかを選択するようにされている。複合画像形成装置100の電源投入直後の初期状態での設定は、「オフモード」が設定されている。

【0031】前記「IJモード」とは、受信部にて受信されるファクシミリの画像データをインクジェット方式の画像形成手段のみにより画像形成の出力を行うモードであり、「特定IJモード」とは、夜間等の所定の時刻の間は受信部にて受信されるファクシミリの画像データをインクジェット方式の画像形成手段のみにより画像形成の出力を行うモードであり、「オフモード」とは、前記モードを解除し、制御手段に設定されている条件で自動的に画像形成するモードである。制御手段の制御により、自動的に画像に形成するモードにおいては、例えば、電子写真方式の画像形成手段のみにより画像形成の出力を行ったり、白黒画像データは電子写真方式の画像形成手段により出力し、カラー画像データはインクジェット方式の画像形成手段に出力するという設定であり、別途前記操作表示部の指定手段22により指定され、該指定手段により指定された条件にて自動的に制御手段により制御される。

【0032】なお、前記「IJモード」および「特定IJモード」においては、電子写真方式の画像形成手段への電源供給が遮断される様になっている。これは、夜間等の所定の時刻の間にあつては、電子写真方式の画像形成手段が未使用状態となるため、無駄な電力消費を解消し省エネのために成される。或いは「IJモード」にあつては、長時間の未使用状態が継続する場合においては、いわゆるオートシャットオフ機能により、省エネのために電子写真方式の画像形成手段への電源供給が遮断される。

【0033】「特定IJモード」が選択されている場合、受信時刻を計時手段24に読み取る(F5)。次に読み取った時刻情報が、前記操作表示部の時刻設定手段23により設定されている所定の時刻の範囲(第1の時刻t1~第2の時刻t2)内かどうかを判定する(F6)。これは例えば夜間のPM10:00~AM8:00までと設定されている。所定の時刻の範囲に入ってい

ればインクジェット方式の画像形成手段により出力するルーチンに進む。まず、インクジェット方式の画像形成手段にて画像形成の出力が可能かどうかを判定する(F7)。出力が可能と判定された場合には、FAX受信された画像データをインクジェット方式の画像形成手段により画像形成の出力を行う(F8)。一方、前記F7にて、インクジェット方式の画像形成手段にて画像形成の出力が不可能と判定された場合には、電子写真方式の画像形成手段により画像形成の出力を行うルーチンへ進む。電子写真方式の画像形成手段による出力においては、先ず、遮断されていた電源が投入され、定着装置を加熱してウォームアップが行われて立ち上げられる(F9)。ウォームアップが完了すると電子写真方式の画像形成手段により画像形成の出力を行う(F10)。

【0034】前記フローのF4にて「IJモード」が選択されている場合は、直ちにインクジェット方式の画像形成手段により出力するルーチンF7へ進む。

【0035】また、前記フローのF4にて「オフモード」が選択されている場合には、直ちに電子写真方式の画像形成手段により出力するルーチンF9へ進む。

【0036】以上のようにして、F8又はF10による出力が行われたならば終了する。また、前記「特定IJモード」および「IJモード」が選択されている場合においては、夜間等の所定の時刻t1~t2の間は、電子写真方式の画像形成手段に係わる電源供給を遮断するように制御されていることが好ましい。即ち、計時手段の時刻がt1であることが検知され、その時に電子写真方式の画像形成手段に係わる電源供給が行われている場合には、制御手段は電子写真方式の画像形成に係わる電源供給を遮断するように制御することが好ましい。

【0037】更に、各々の画像形成手段#1、#2に対して用紙供給手段6が設けられ、各々の画像形成手段#1、#2に記録用紙が分配して供給される。記録用紙には普通紙などが用いられる。この例では、用紙供給手段6の下流側には搬送路切換手段7が設けられ、用紙供給手段6から各々の画像形成手段#1、#2へ供給される記録用紙の搬送路が切り換えられる。

【0038】この搬送路切換手段7では画像形成手段#1に記録用紙を供給するときは、画像形成手段#1と用紙供給手段6との間に搬送路が接続され、画像形成手段#2に記録用紙を供給するときは、画像形成手段#2と用紙供給手段6との間に搬送路が接続される。

【0039】もちろん、各々の画像形成手段#1、#2に対して個別型の用紙供給手段6'を設け、個々独立に記録用紙を供給するようにしてもよい。例えば、用紙供給手段6'から画像形成手段#2(インクジェット方式の画像形成手段)へ普通紙の代わりにインクジェットの専用の転写紙を供給するようにしてもよい。

【0040】これらの画像形成手段#1、#2の下流側には後処理手段10が設けられ、各々の画像形成手段#

1、#2から出力される画像形成後の二以上の記録紙Rを一箇所に集めて所望の加工処理が施される。

【0041】図3は本発明の複合画像形成装置の一例としての複合機200の内部構成を示す構成断面図である。図3に示す複合機200は給紙ユニット201、画像形成装置202及び後処理手段としてのフィニッシャー203から構成される。画像形成装置202は、画像読取手段2、画像処理手段5、画像書き込み手段13、インクジェット方式の第2の画像形成手段#2、電子写真方式の第1の画像形成手段#1、第1給紙手段15、第2給紙手段16、定着手段17、搬送手段18、制御手段19及び受信部とファクシミリ手段を有する通信手段210等を備えている。

【0042】第1給紙手段15は、カセット給紙部15Aと大容量給紙部(LCT)15B、15C又は図示しない手差し給紙部で構成される。第2給紙手段16はレジストローラP6を有している。搬送手段18は、搬送ベルト18A、搬送路切換手段としての切換板18B、排紙ローラP7、自動両面画像形成用の搬送部(ADU)18D等を備えている。

【0043】第2の画像形成手段#2の上部には、画像読取手段2を構成する自動原稿送り装置(ADF)2Aが搭載されている。画像形成装置202の図示の左側面の排紙ローラP7側には、フィニッシャー203が連結されている。自動原稿送り装置2Aの原稿台上に載置された原稿は矢印方向に搬送され、画像読取り手段2の光学系により原稿の片面又は両面の画像が読みとられ、CCDイメージセンサ2Bに読み込まれる。CCDイメージセンサ2Bにより光電変換されたアナログ信号は、画像処理手段5において、アナログ処理、A/D変換、シェーディング補正、画像圧縮処理等が行われ画像メモリに一時記憶される。その後、カラー用の画像データDはインクジェット方式の画像形成手段#2に供給され、白黒用の画像データDは画像形成手段#1の画像書き込み手段13に送られる。

【0044】また、画像形成手段#2はドライバ32A及びイエローY、マゼンタM、シアンC、黒BK用のインクジェット部32Bを有している。画像形成手段#2ではカラー用の画像データDに基づいてY、M、C、BKのインクが記録紙Rに噴射され、カラー画像が形成される。例えば、第1給紙手段15から送り出された記録紙Rは、上流側の搬送ローラ群P20を経てY、M、C、BKのインクジェット部32B下に搬送されてくると、カラー用の画像データDに基づくドライバ32Aによる所定のタイミング及び所定の噴射位置(画像形成位置)でカラー画像が形成される。

【0045】このカラー画像が形成された記録紙Rは、下流側の搬送ローラ群P20により搬送され、排紙ローラP7を経てフィニッシャー203に送り込まれる。上流側の搬送ローラ群P20は搬送ローラP21～P24

から成り、下流側の搬送ローラ群P20は搬送ローラP25～P27から成る。

【0046】また、画像書き込み手段13においては、半導体レーザからの出力光が画像形成手段#1の感光体ドラムに照射され、潜像が形成される。画像形成手段#1においては、帯電、露光、現像、転写、分離、クリーニング等の処理が行われる。例えば、第1給紙手段15から送り出された記録紙Rは、レジストローラP6を経て、感光体ドラムと転写電極とが対向する転写位置(画像形成位置)で画像形成処理される。この転写により画像が形成された記録紙Rは、搬送ベルト18Aにより搬送され、定着手段17により定着処理を受け、フィニッシャー203に送り込まれる。両面画像形成では搬送路の切替板18Bにより両面画像形成用の搬送部18Dに送り込まれた片面画像処理済みの記録紙Rは再び画像形成手段#1に搬送されて転写位置で裏面に画像が形成された後、フィニッシャー203に送り込まれる。

【0047】白黒又はカラーの画像形成に当たって、画像形成装置202で、カセット給紙部15A、大容量給紙部15B、15C又は図示しない手差し給紙部のいずれかが選択されると、搬送(給紙)ローラP1、P2、P3、P5のいずれかから記録紙Rが画像形成手段#1又は#2へ給紙される。

【0048】もちろん、カラー画像及び白黒画像を並行処理するときは、記録紙Rが画像形成手段#1及び#2へ給紙される。搬送ローラP1、P2、P3及びP5は第1給紙手段15を構成し、給紙信号により給紙を開始するようになされる。第1給紙手段15はローラとローラに張架されたベルトで構成され、カセット給紙部15A、大容量給紙部15B、15C又は手差し給紙部のいずれかから一枚の記録紙Rを分離して画像形成手段#1又は#2へ搬送するようになされる。

【0049】搬送ローラ群P4は給紙ローラP1、P2、P3から搬送された記録紙Rを画像形成手段#1又は#2へ搬送するように駆動される。なお、搬送ローラP1、P2、P3及びP5は記録紙Rを送り出した後に、その記録紙Rの先端が搬送ローラ群P4の先頭のローラに達したところで、一旦停止させ、搬送ローラ群4により再給紙するように構成することもできる。記録紙RはレジストローラP6の手前で一旦停止し、画像形成手段#1における画像形成と同期して回転するレジストローラP6によって再給紙される。搬送ベルト18A、定着手段17及び排紙ローラP7を経て画像形成装置202から排出された記録紙Rは、フィニッシャー203に誘導される。

【0050】

【発明の効果】本発明により、電子写真方式の画像形成手段とインクジェット方式の画像形成手段とを備え、且つFAX受信部を有した複合画像形成装置において、深夜の外部通信回路からのFAX受信時における出力を、

省電力および経済的に行うことが出来、またユーザの用途に応じた画像形成方法を選択可能な複合画像形成装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態としての複合画像形成装置100の構成例を示すブロック図。

【図2】送られてきたFAX情報を処理するフローチャート図。

【図3】複合機200の内部構成を示す構成断面図。

【符号の説明】

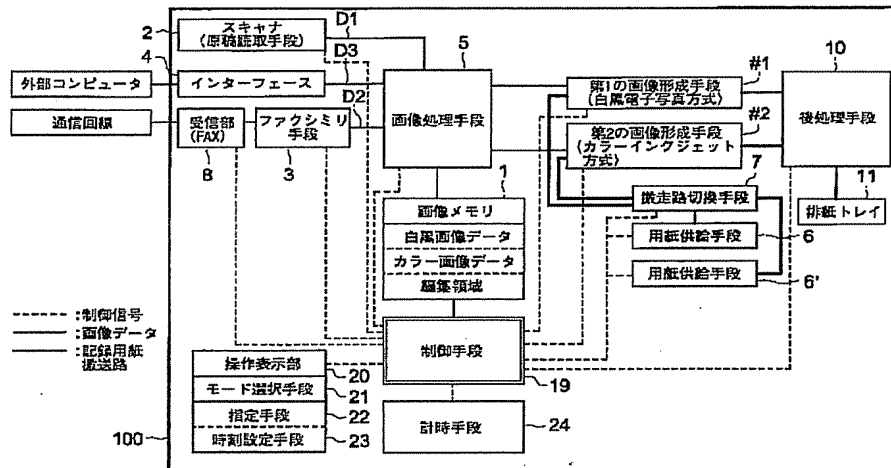
- 1 画像メモリ（記憶手段）
- 2 スキャナ（原稿読取手段）
- 3 ファクシミリ手段
- 4 インターフェース

- 5 画像処理手段
- 6 用紙供給手段
- 7 搬送路切換手段
- 8 受信部（FAX受信部）

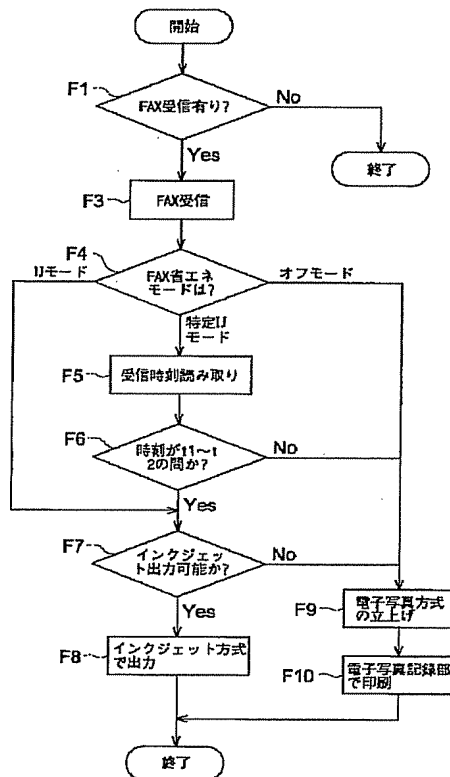
- 10 後処理手段
- 19 制御手段
- 100 複合画像形成装置
- 200 複合機
- 201 給紙ユニット
- 202 画像形成装置
- 203 フィニッシャー（後処理手段）

- #1 第1の画像形成手段（モノクロ電子写真方式）
- #2 第2の画像形成手段（カラーインクジェット方式）

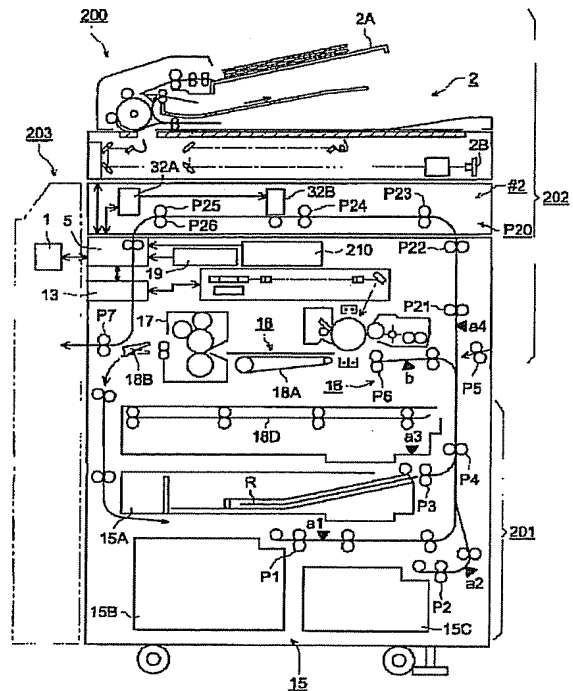
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

G 0 3 G 21/00

H 0 4 N 1/23

1/29

識別記号

3 7 0

1 0 1

F I

H 0 4 N 1/23

1/29

B 4 1 J 3/00

テ-マ-ト (参考)

1 0 1 Z

Z

E

(72) 発明者 佐藤 一夫

東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

(72) 発明者 池田 忠義

東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式会社内

F タ-ム (参考) 2C061 AP07 AQ05 AQ06 AR01 HH11

HK04 HK19 HN02 HN15 HQ02

HQ03 HT07 HT11 HT13

2H027 DA38 ED25 EE06 EJ17 FD08

GB13 ZA07

2H078 AA18 AA23 BB01 BB08 EE01

FF04 FF09

5C062 AA02 AB22 AB38 AB46 AF06

BA00

5C074 AA13 AA17 BB02 BB16 CC26

EE06 EE15